

【令和2年度事業に関する経営発達支援計画 評価委員会報告書】

(1) 日時・会場	
コロナ感染対策のため書面評価を実施しました。 令和4年1月7日(金)～1月31日(月)	
(2) 評価委員	
1. 中小企業診断士、経営コンサルタント	太田敬治 氏
2. 中小企業診断士	伊藤正昭 氏
3. 大町市産業観光部部長	駒澤 晃 氏
(3) 全体を通しての評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・ LOBO 調査の対象業種に、大町の産業を反映させてほしい。 ・ 専門家派遣の活用を積極的にしてください。 ・ コロナ関連補助金は、事業見直しの好機と捉えてください。 ・ 事業計画策定は、全ての課題解決に必須であり重要だと思います。 ・ コロナ感染症の影響によりできなかった事業もあるが、できる事業はきっちりできており、良い会員支援ができています。 ・ 対面事業が実施できない中で、企業のリモートワーク拡大に呼応する会議所活動として、WEBに加え動画を活用した情報提供も必要かと思っています。 ・ 企業は動画サイトでの情報収集も行っており、会議所が提供すれば安心感があると思います。(各種専門家との連携含む) ・ 「セミナー⇒個別相談会⇒個別課題解決」の流れを作ることができれば、商工会議所のサービス増加になると思います。 ・ 対面活動の実施が難しい中、ご苦勞様でした。 ・ 事業遂行においては、対面が難しかったのでコロナ禍ではやむなしと考えます。 	
(4) 評価委員からの指摘に基づく次年度への改善事項等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘のあったLOBO調査対象先の選定にあたっては、新年度より当市の産業を反映している事業所を追加します。 ・ 事業計画策定に関しては、コロナ禍で経営課題の解決や補助金申請などに必須であることから、事業者に対しその重要性を更にご理解いただけるよう周知をまいります。 ・ 様々なシーンで各種専門家を積極的に活用し、多面的な支援を行うことで企業の持続的発展を促します。 ・ 情報発信の重要性を理解し、時代に沿った発信手法を検討してまいります。 ・ ポストコロナを踏まえ、企業の課題抽出から解決に向け、ワンストップにより効果的な選択ができるよう関係機関と連携し伴走型支援に努めます。 ・ 新しい経営発達支援計画を遂行できるよう、職員各々の意識改革とスキル向上に努めます。 	
(5) その他	特になし